

育苗中も、田植え後も。

カンタン灌注処理で、省力ガード！



カンタン
灌注処理
(播種時)



水稻初期害虫
を防ぐ！

さらに、苗立枯病も！



育苗箱用 殺虫殺菌剤
ヘッド® 顆粒水和剤

育苗箱用 殺虫殺菌剤

ヘッド® 顆粒水和剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2018年7月現在の登録内容に基づいています。

日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

HED-WPR2A

®は日産化学(株)の登録商標

水稻の初期害虫を、 灌注処理で省力防除！ さらに、ムレ苗も防止します。

育苗箱用 殺虫殺菌剤

ヘッド® 顆粒水和剤

登録番号：第23352号
有効成分：クロラントラニプロール ……25.0%
 アミスルブロム ……12.5%
容 量：100g入



水稻初期害虫を防ぐ
リナキシピル

+

ムレ苗を防止する
アミスルブロム

■特長

定評のある殺虫成分「クロラントラニプロール(リナキシピル)」に、殺菌成分「アミスルブロム」をプラスした、育苗箱用の殺虫殺菌剤。

播種時に簡便な灌注処理をするだけで、初期害虫防除を完了できます。*

さらに、育苗期間中のムレ苗・苗立枯病(ピシウム菌)も防ぎ、苗立率アップが期待できます。

*いもち病の防除も必要な場合は、箱処理のいもち病用殺菌剤と併用してください。

■安全性

人 畜 毒 性:普通物* ★毒劇物に該当しないものを指している通称
急性経口毒性:ラット♀ LD₅₀>2000mg/kg
急性経皮毒性:ラット♂♀ LD₅₀>2000mg/kg
眼 刺 激 性:軽度の刺激性
皮 膚 刺 激 性:刺激性なし

皮膚感作性:モルモット:陰性
魚 毒 性 等:コイ LC₅₀(96時間)86mg/ℓ
オオミジンコ EC₅₀(48時間)0.00019mg/ℓ
藻類 EC₅₀(72時間)>1000mg/ℓ

■適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫/使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農業の総使用回数	アミスルブロムを含む農業の総使用回数
稲(箱育苗)	イネドロオウムシ イネミスゾウムシ ムレ苗防止	500倍	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液500ml	播種時～ 出芽時 ただし、 移植15日前 まで	1回	土壌灌注	1回	1回
		1000倍	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液1ℓ					
	フタオビコヤガ ニカメイチュウ 苗立枯病(ピシウム菌)	500倍	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液500ml	播種時				
		1000倍	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液1ℓ					

■混用例

ヘッド顆粒水和剤は、以下の薬剤との混用例があり、問題が生じなかったことが確認されています。

スタウト顆粒水和剤 ダコレート水和剤 ダコニール1000 タフブロック

あのリナキシピルに、アミスルブロムをプラス！
播種時にカンタンな「灌注処理」をするだけで、
育苗期から田植え後まで、水稻初期害虫をブロック。
さらに、育苗期間中のムレ苗も防止できます。

カンタン
灌注処理
(播種時)

「灌注処理」で、カンタン&省力的！

播種時に簡便な処理をするだけで、
水稻初期害虫から長期間守ることができ、
さらに苗立率の向上も期待できます。

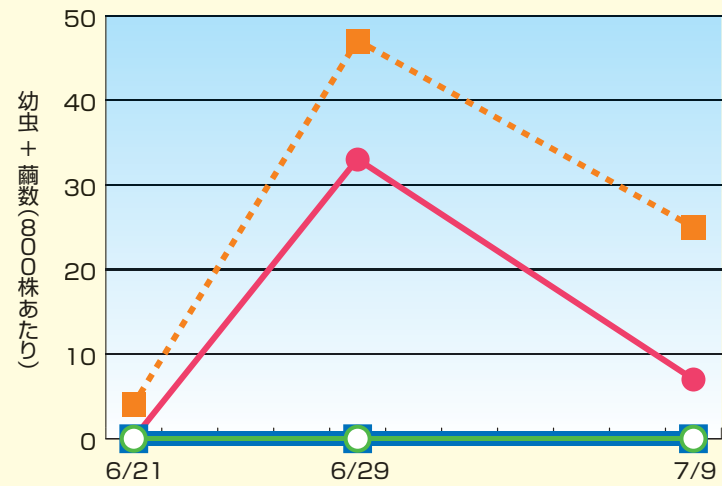


殺虫成分 リナキシピル が、
イネドロオウムシ・イネミズゾウムシを長期間防除!



イネドロオウムシを、長く抑える!

■イネドロオウムシに対する効果



- ヘッド顆粒水和剤 500倍 (500mℓ/箱)
- ヘッド顆粒水和剤 1000倍 (1000mℓ/箱)
- 対照剤A (50g/箱)
- 無処理

〈試験場名〉
長野県農業試験場

〈耕種概要〉
品種:コシヒカリ
播種:2012年4月27日
移植:2012年5月23日
薬剤処理:播種前床土処理



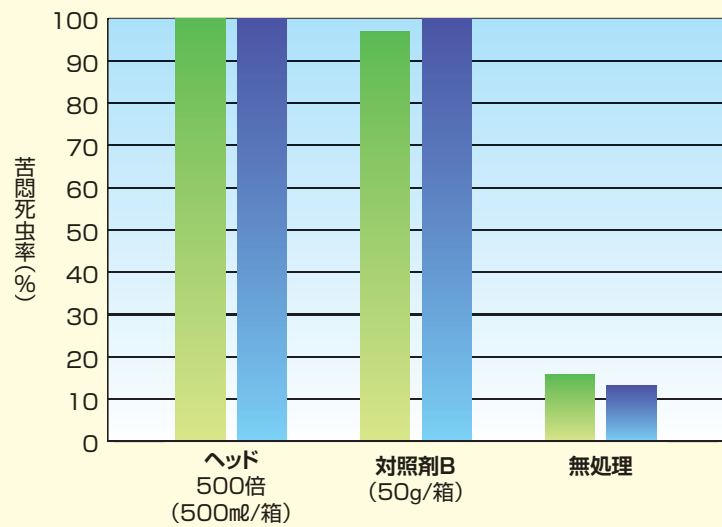
イネドロオウムシ



被害

イネミズゾウムシも、長く抑える!

■イネミズゾウムシ(成虫)に対する効果



- 移植7日後放虫
- 移植28日後放虫

〈試験場所〉
日産化学(株)生物科学研究所

〈耕種概要〉
品種:日本晴
育苗規模:200穴セルトレイ
播種量:5粒/セル
栽培規模:a/10000
試験方法:筒立て放虫試験
放虫数:10頭/ポット
連制:4反復
放虫:2014年5月9日
調査:2014年5月16日



イネミズゾウムシ



被害

殺菌成分 アミスルブロム が、
ムレ苗と苗立枯病を防ぐため、苗立率アップに貢献!



ムレ苗を、しっかり防止!

■イネ急性萎凋症(ムレ苗)に対する効果



播種41日後

ヘッド顆粒水和剤 1000倍 (1ℓ/箱)

対照剤C 1000倍 (1ℓ/箱)

無処理/接種

〈試験場所〉
日産化学(株)生物科学研究所

〈試験概要〉
薬剤処理:播種時灌注処理
調査:播種41日後

イネ苗立枯病も、しっかり抑える!

■イネ苗立枯病(ピシウム菌)に対する効果

薬剤名	処理方法	調査苗数	生育不良苗数	枯死苗数	発病苗率 (%)	発病度	防除価
ヘッド顆粒水和剤	1000倍 (1000mℓ/箱)	1110	57	0	5.1	2.6	72.0
ヘッド顆粒水和剤	500倍 (500mℓ/箱)	1104	29	0	2.6	1.3	86.0
対照剤C	500倍 (500mℓ/箱)	1121	36	3	3.5	1.9	79.6
無処理	-	1112	171	18	17	9.3	-

〈試験場名〉
滋賀県農業技術振興センター

〈試験概要〉
品種:キヌヒカリ
播種:2012年6月6日
薬剤処理:播種時覆土前灌注処理
調査:2012年6月22日

ピシウム菌を抑え、根の健全な生育をサポート!

■箱育苗ごとの根張り比較試験



ヘッド顆粒水和剤 500倍

対照剤C 500倍

無処理

〈試験場所〉
日産化学(株)生物科学研究所

〈試験概要〉
薬剤処理:2014年2月21日
調査:2014年3月14日

委託試験成績

年度	作物名	病害虫(種名) (調査項目)	場所	圃場	発生条件	湿度・量	処理方法	回数	処理月日 (調査時期)	対照薬剤処理条件	対対照	対無処理	判定	薬害
H24	イネ(つがるロマン) 播種:4/18 移植:5/26	イネドロオイムシ (幼虫食害度、寄生虫数)	青森	本田	少	×1,000 1ℓ/箱	床土灌注	1	4/18(播種時) (移植41日後)	D剤 50g/箱 播種時覆土前	B	A	A	-
H24	イネ(ひとめぼれ) 播種:4/9 移植:5/11	イネドロオイムシ (被害度、寄生虫数)	宮城植	本田	中	×1,000 1ℓ/箱	床土灌注	1	4/9(播種時) (移植40、49日後)	E剤 50g/箱 播種時覆土前	B	A	A	-
H24	イネ(ひとめぼれ) 播種:4/1 移植:5/6	イネドロオイムシ (被害度、寄生虫数)	宮城植	本田	中	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/1(播種時) (移植37、44日後)	F剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	A A	-
H24	イネ(つがるロマン) 播種:4/17 移植:5/21	イネドロオイムシ (密度指数(L、P))	青森	本田	少	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	育苗箱灌注	1	4/17(播種時覆土前) (処理77、84日後)	G剤 50g/箱 播種時覆土前	B B	A A	B B	-
H24	イネ(あきたこまち) 播種:4/13 移植:5/16	イネドロオイムシ (虫数(L、P))	秋田	本田	少(放虫)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/13(播種時) (処理73日後)	H剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	A A	± ±
H24	イネ(あきたこまち) 播種:4/17 移植:5/22	イネドロオイムシ (密度虫数、被害葉率)	岩手植	本田	少	×1,000 1ℓ/箱	育苗箱灌注	1	4/17(播種時覆土前) (移植50日後)	I剤 50g/箱 移植当日	B	A	A	-
H24	イネ(コシヒカリ) 播種:4/27 移植:5/23	イネドロオイムシ (密度指数(L、P))	長野農	本田	少	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/27(播種時) (移植36日後)	A剤 50g/箱 播種時覆土前	A A	A A	B B	-
H24	イネ(つがるロマン) 播種:4/17 移植:5/21	イネミズソウムシ (密度指数(根部寄生L、P))	青森	本田	少	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/17(播種時覆土前) (処理91日後)	G剤 50g/箱 播種時覆土前	B B	A A	B B	-
H24	イネ(つがるロマン) 播種:4/18 移植:5/26	イネミズソウムシ (密度指数(根部寄生L、P))	青森	本田	中	×1,000 1ℓ/箱	土壌灌注	1	4/18(播種時覆土前) (処理86日後)	D剤 50g/箱 播種時覆土前	C	B	B	-
H24	イネ(ひとめぼれ) 播種:4/14 移植:5/12	イネミズソウムシ (食害度、根部寄生虫数)	宮城植	本田	少(放虫)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/14(播種時) (被害度:移植38日後) (根部虫数:移植49、56日後)	F剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	A A	- -
H24	イネ(あきたこまち) 播種:4/13 移植:5/16	イネミズソウムシ (虫数(L、P))	秋田	本田	少(放虫)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/13(播種時) (処理87日後)	H剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	A A	± ±
H24	イネ(コシヒカリ) 移植:5/9	イネミズソウムシ (対無処理比(L+P))	福島	本田	少(放虫)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/16(播種時) (移植54日後)	J剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	B B	-
H25	イネ(はえぬき) 播種:4/26 移植:5/21	イネミズソウムシ (虫数L、P)	山形	本田	少(放虫)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	土壌灌注	1	4/26(播種時) (処理69日後)	H剤 50g/箱 移植当日	B B	A A	A A	-
H24	イネ(キヌヒカリ) 播種:6/6	苗立枯病(ピシウム) (発病苗割合)	滋賀農技セ	室内	少(接種)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	播種時灌注	1	6/6 (6/22)	C剤×500 0.5ℓ/箱 播種時床土灌注	C A	B A	B B	-
H24	イネ(コシヒカリ) 播種:4/9	苗立枯病(ピシウム) (発病苗割合)	富山農	施設(箱)	多(接種)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	播種時灌注	1	4/9(播種直前) (5/6)	C剤×1,000 1ℓ/箱	B C	A B	A B	-
H24	イネ(ななつぼし) 播種:5/9	急性萎凋症(ムレ苗) (発病度)	北植防	施設(箱)	甚(接種)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	覆土前灌注	1	5/9 (5/29)	C剤×1,000 1ℓ/箱	B C	A B	A B	-
H24	イネ(コシヒカリ) 播種:10/21	ピシウム菌による 急性萎凋症(ムレ苗) (発病度)	長野農	施設(ポット)	少(接種)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	播種時灌注	1	10/21(播種時) (11/7(播種17日後))	C剤×500 0.5ℓ/箱	B B	A A	A A	-
H24	イネ(コシヒカリ) 播種:4/18	ピシウム菌による 急性萎凋症(ムレ苗) (発病度)	福島農	施設(箱)	多(接種)	×1,000 1ℓ/箱 ×500 0.5ℓ/箱	播種時灌注	1	4/18(播種当日) (5/10(播種22日後))	C剤×500 0.5ℓ/箱 播種時床土灌注	B B	A A	B B	-